



2011年度(2012年3月期) 第2四半期 決算説明会

2011年10月28日

セイコーエプソン株式会社



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

開示セグメントの変更について

【2011年度】

- ものづくり基盤の再構築・強化を迅速に実行することを狙いとして、「電子デバイス事業セグメント」と「精密機器事業セグメント」を統合し、「デバイス精密機器事業セグメント」とする
- 「中・小型液晶ディスプレイ」のオペレーション終結を受け、2011年度以降発生する損益については「その他」に集約

【ビジュアルプロダクツ事業部(10月1日組織変更)】

- 映像分野における事業領域の拡大を確実なものとするため、「映像機器事業(プロジェクター)」<情報関連機器セグメント>と「TFT(HTPS)事業」<デバイス精密機器セグメント>を統合し、「ビジュアルプロダクツ事業部」<情報関連機器セグメント>とする

* 本資料では、上記内容について、
2010年度実績値 ならびに2011年度実績値、予想数値の補正を行った上で説明

1. 概要

2. 詳細

決算ハイライト（中間決算）

(億円)	2010年度		2011年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	7/29予想	%	実績	%	前期実績比	前回予想比
売上高	4,792	-	4,520	-	4,255	-	-537 -11.2%	-264 -5.9%
営業利益	146	3.1%	70	1.5%	67	1.6%	-78 -53.8%	-2 -3.2%
経常利益	148	3.1%	50	1.1%	61	1.4%	-87 -58.6%	+11 +22.9%
税引前利益	134	2.8%	△20	-0.4%	0	0.0%	-133 -99.3%	+20 -
純利益	74	1.6%	△110	-2.4%	△43	-1.0%	-118 -	+66 -
EPS	37.33 円		△55.06 円		△21.89 円			
換算 レート	USD	88.95 円	81.00 円		79.82 円			
	EUR	113.85 円	114.00 円		113.80 円			

前回予想 第2四半期以降の予想前提レート
USD: 80.00円、EUR: 110.00円

2011年度業績予想

(億円)	2010年度		2011年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	7/29予想	%	今回予想	%	前期実績比	前回予想比
売上高	9,736	-	9,700	-	9,100	-	-636 -6.5%	-600 -6.2%
営業利益	327	3.4%	430	4.4%	330	3.6%	+2 +0.9%	-100 -23.3%
経常利益	311	3.2%	400	4.1%	310	3.4%	-1 -0.6%	-90 -22.5%
税引前利益	153	1.6%	300	3.1%	210	2.3%	+56 +36.5%	-90 -30.0%
当期純利益	102	1.1%	170	1.8%	100	1.1%	-2 -2.3%	-70 -41.2%
EPS	51.25 円		85.09 円		50.15 円			
換算 レート	USD	85.72 円	80.00 円		77.00 円		今回予想 2011年度下期の予想前提レート USD: 75.00円 EUR: 105.00円	
	EUR	113.12 円	112.00 円		109.00 円			

前回予想 第2四半期以降の予想前提レート
USD: 80.00円、EUR: 110.00円

競争力を高めた新製品を予定通り市場投入

- ビジネスインクジェットプリンター18機種
- 小型インクジェットプリンター
- 大容量インクタンクプリンターの販売地域拡大
- ビジネス&ホームプロジェクターのラインアップ拡大
- ビジネスシステム(SIDM & TM)のラインアップ拡大

進捗と対応

- ラインアップを揃えることで、欧米市場で競争激化
⇒ 予定数量確保のために、相応の販売投資
- 震災による部品調達の問題は8月にクリア
⇒ 年末商戦に向け新製品数量確保のため、航空便で送品対応

進捗と対応策を業績予想に反映、
基本戦略が確実に進捗、下期・来期以降への着実な足掛かり

情報関連機器事業

■ インクジェットプリンター事業

- 今期新製品は市場から高い評価
- 期初計画の数量を販売し、
2012年度以降の更なる販売数量拡大に結びつける



ビジネスインクジェットプリンター
PX-B750F



小型インクジェットプリンター
Stylus NX430
(北米モデル)

■ プロジェクター事業

- 欧米教育需要の伸びは鈍化しているものの、
エマージング地域での需要が拡大
- 新製品投入により、ラインアップが大幅に拡充
- シェアNO.1ならではの強みを活かして
期初計画の数量を販売、更なるシェアの獲得



オフィス向け標準プロジェクター
EB-W12



ホーム向け3Dプロジェクター
EH-TW8000W

デバイス精密機器事業

■ マイクロデバイス事業(水晶デバイス、半導体)

- 震災影響、景気減速、円高進行による業績回復の遅れ
- 収益改善への取り組みを加速
 - ① 国内水晶部品組み立て工程の海外拠点への移管
 - ② 情報関連機器事業の重点領域への要員転換
 - ③ 半導体工場の酒田事業所への集約
 - ④ 水晶デバイスにおける、半導体技術の徹底活用
 - 水晶デバイス用半導体の内製化促進
 - 組み立て/パッケージ技術の徹底活用

コアとなる強みに集中してお客様を広げる



1. 概要

2. 詳細

1) 2011年度 第2四半期決算

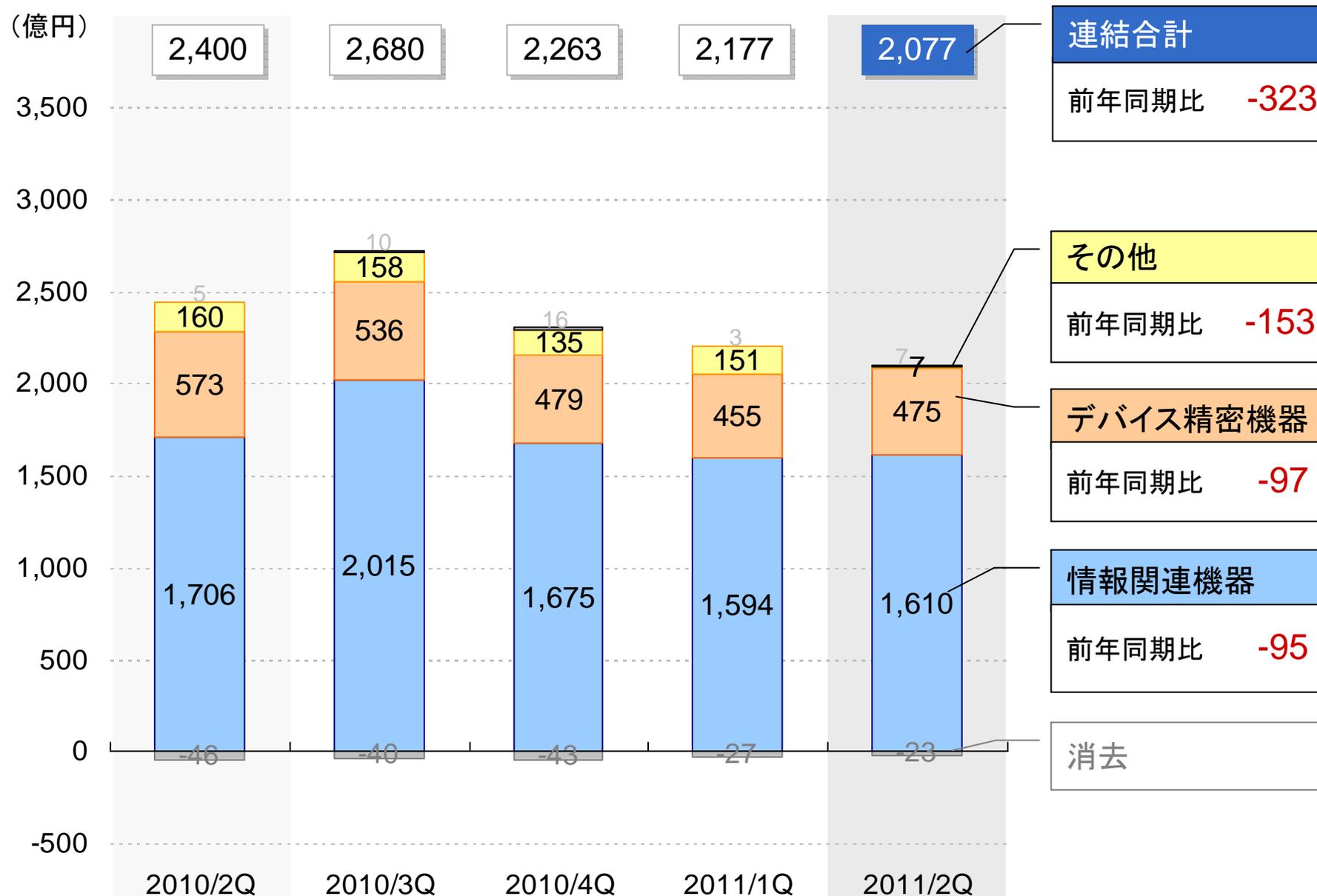
2) 2011年度 業績予想



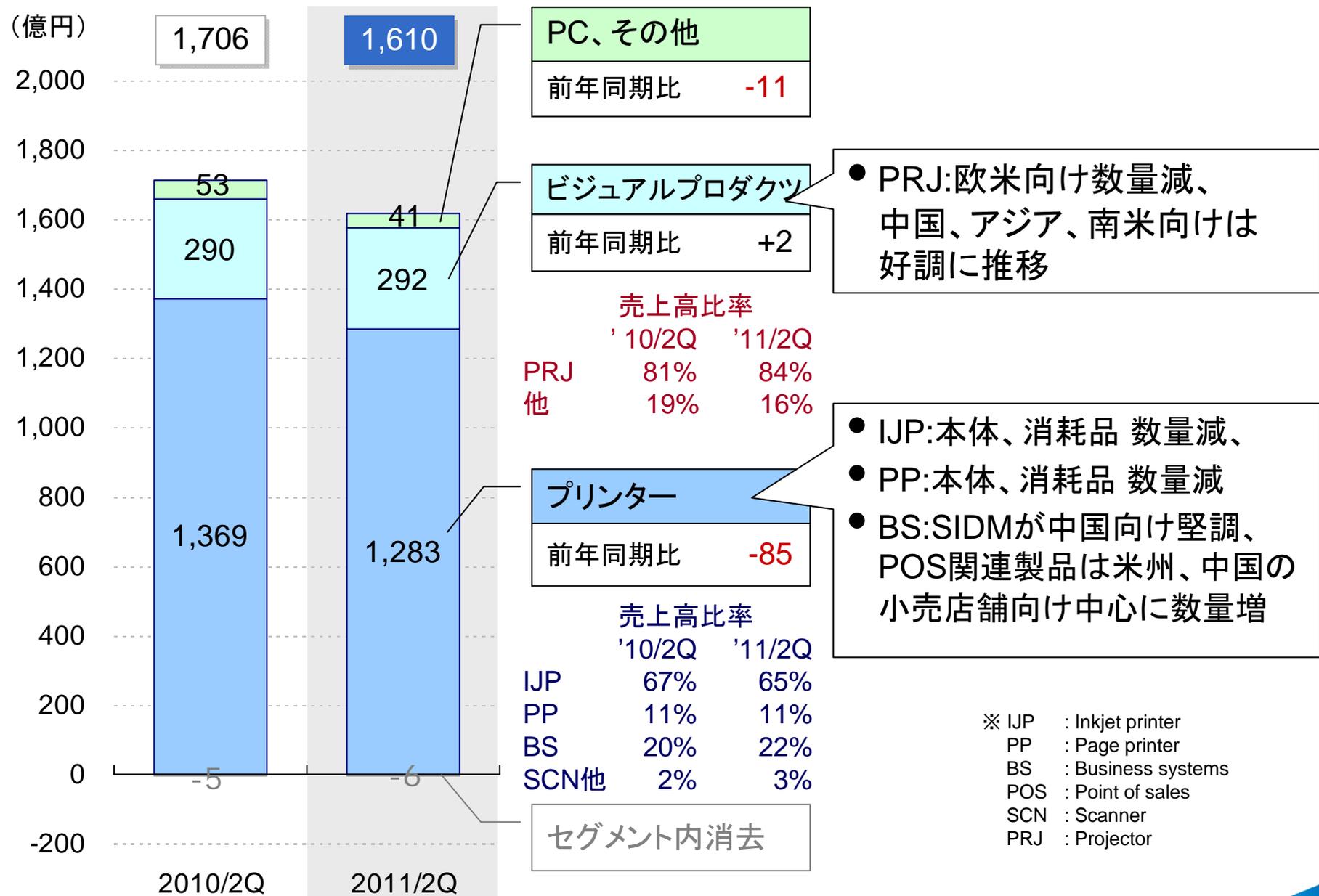
決算ハイライト（第2四半期決算）

(億円)	2010年度		2011年度		増減	
	2Q実績	%	2Q実績	%	増減額	増減率
売上高	2,400	-	2,077	-	-323	-13.5%
営業利益	39	1.6%	31	1.5%	-7	-19.9%
経常利益	36	1.5%	37	1.8%	+1	+3.1%
税引前利益	27	1.1%	△4	-0.2%	-31	-
四半期純利益	△4	-0.2%	△11	-0.6%	-6	-
EPS	△2.43円		△5.75円			
換算 レート	USD	85.90円	77.89円			
	EUR	110.70円	110.19円			

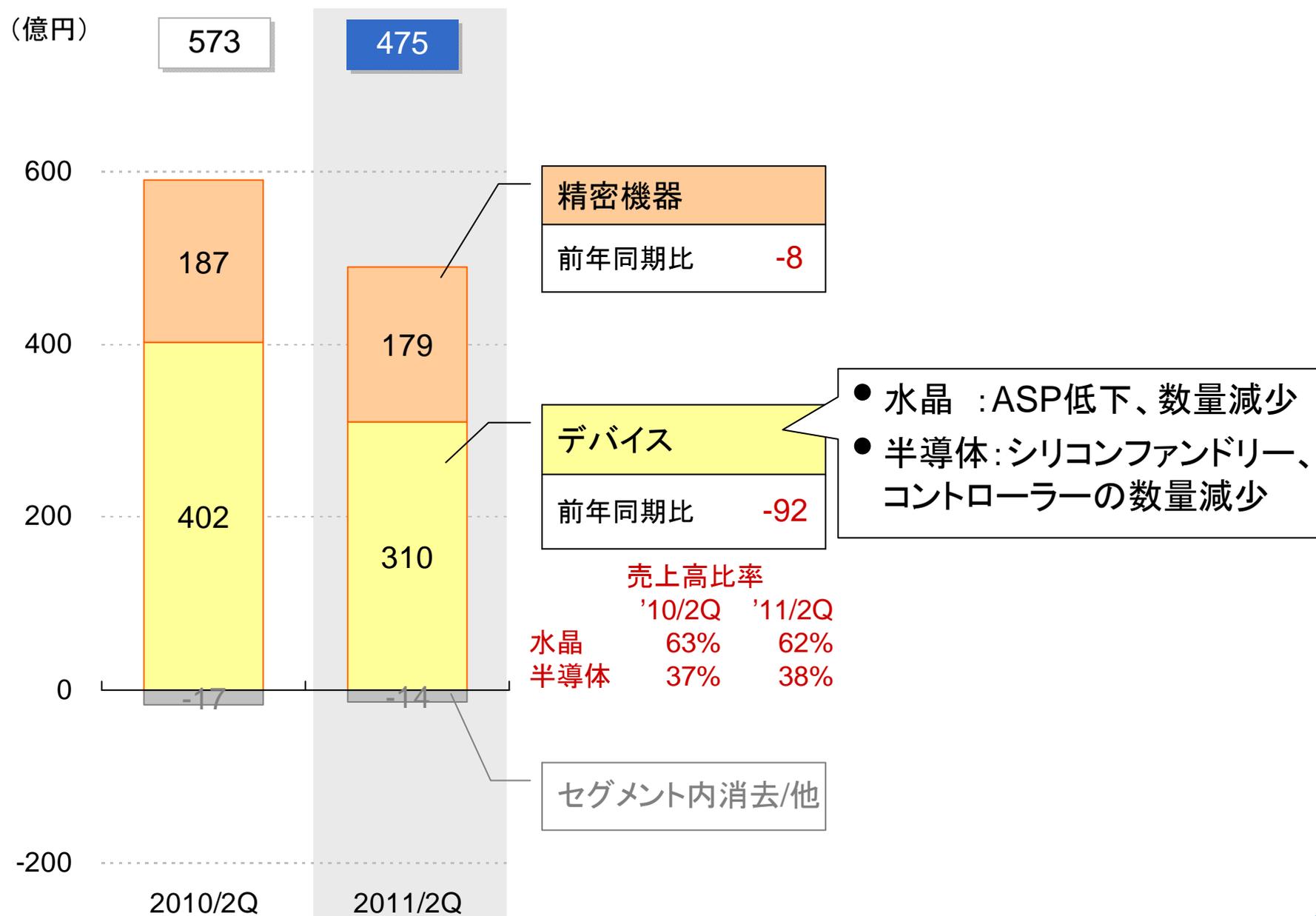
四半期売上高推移 ▶ 事業セグメント別



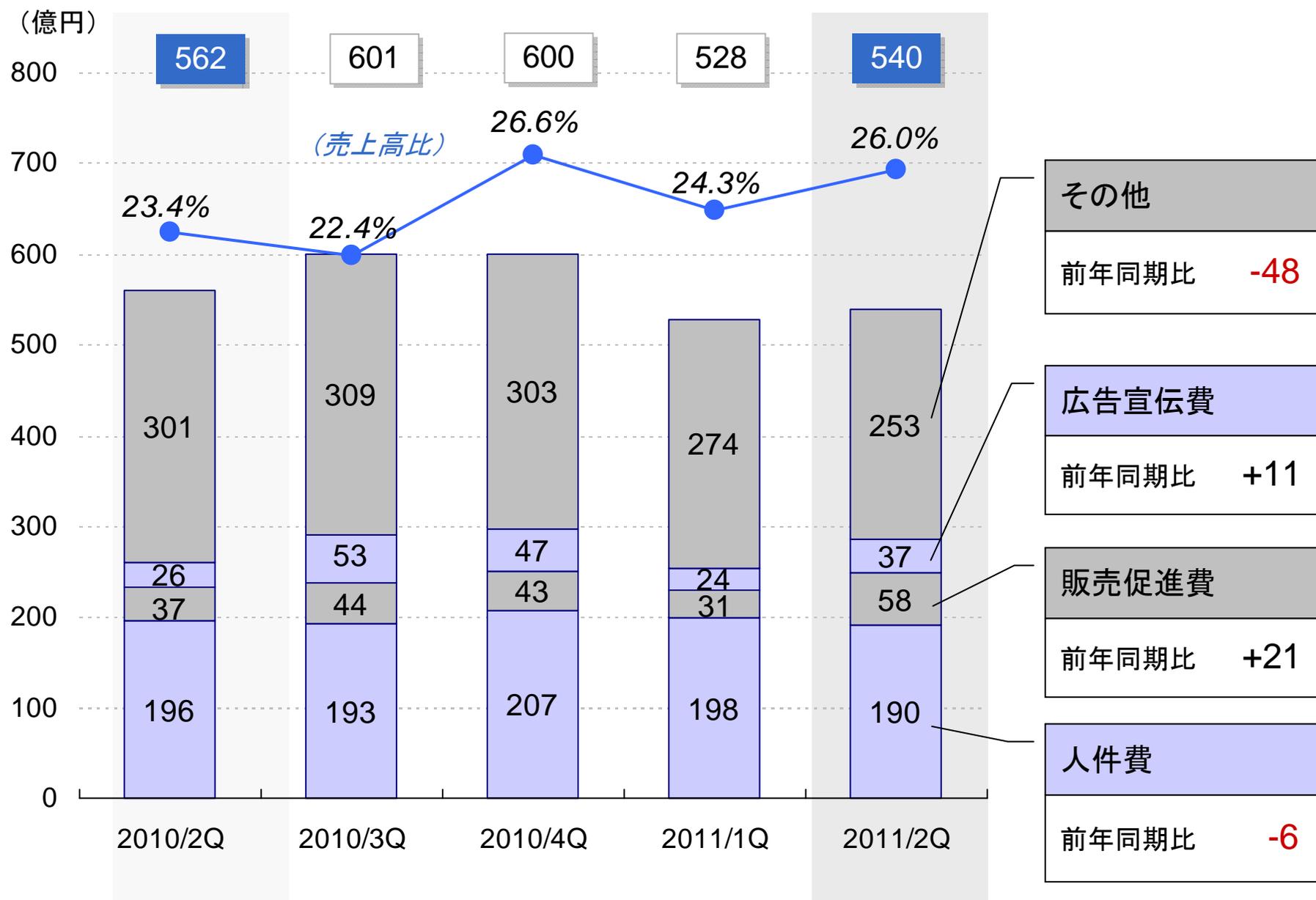
四半期売上高比較 ▶ 情報関連機器セグメント



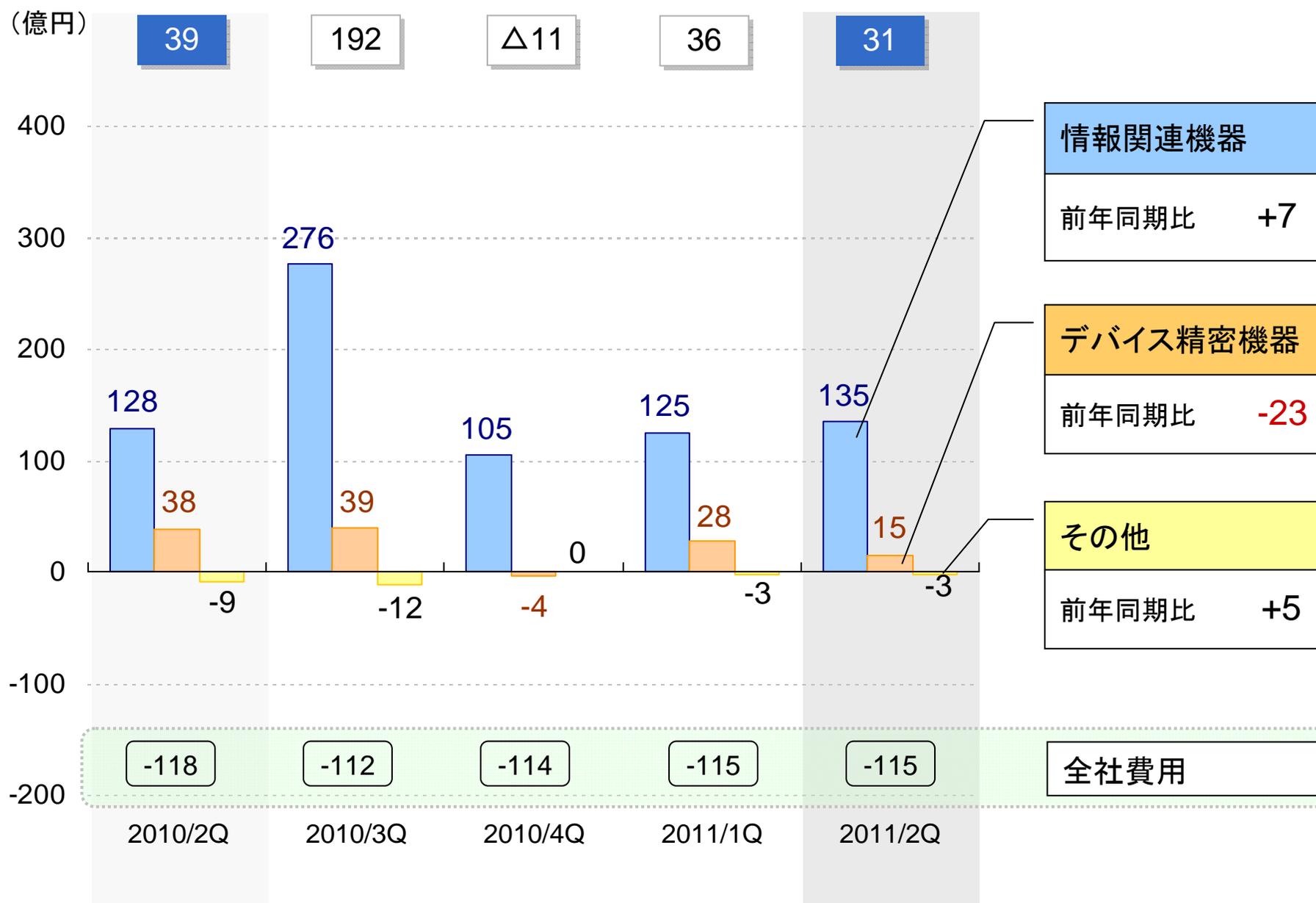
四半期売上高比較 ▶ デバイス精密機器セグメント



四半期販売費及び一般管理費推移

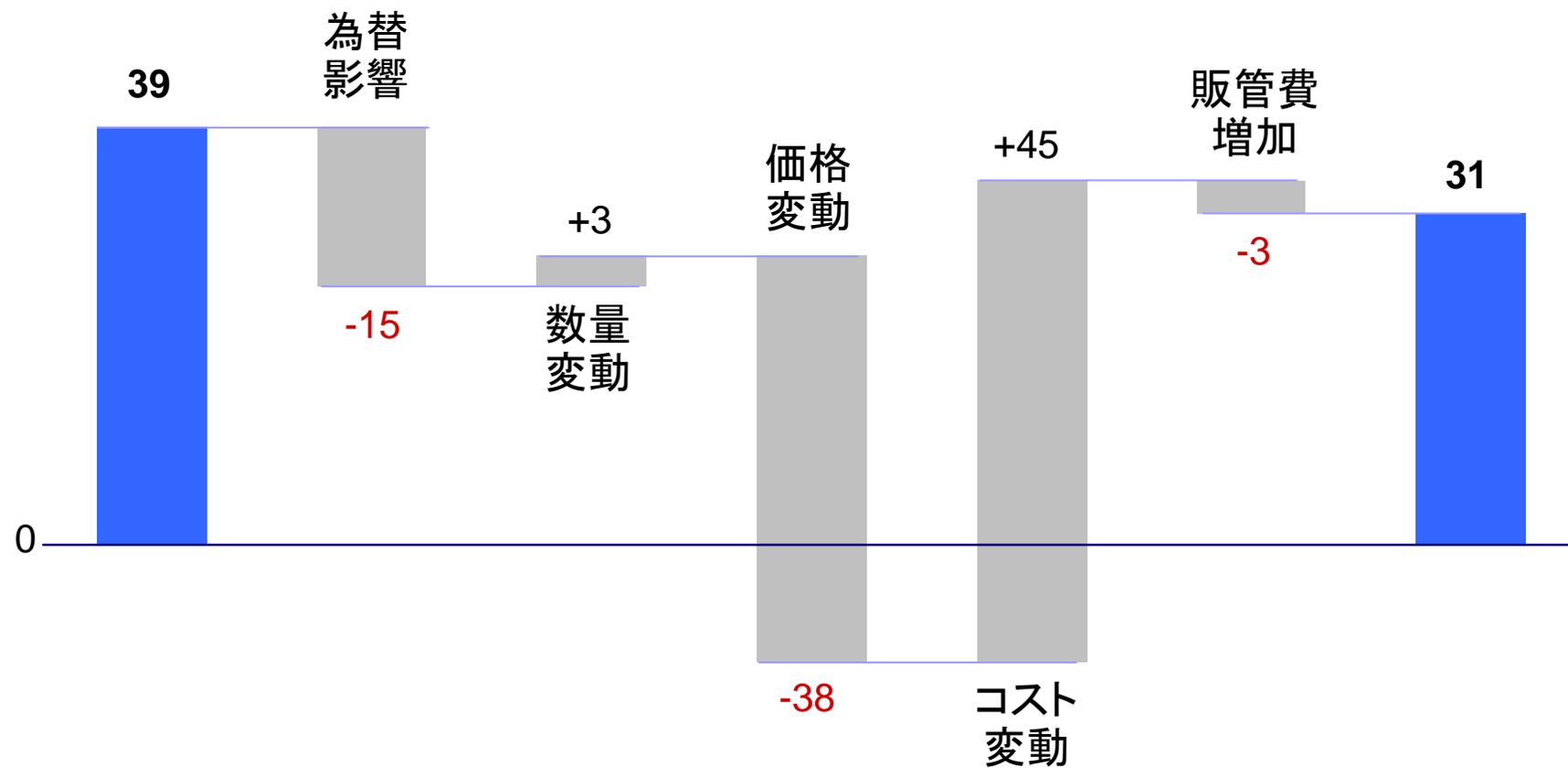


四半期営業利益推移 ▶ 事業セグメント別



營業利益增減要因分析

(億円)



営業利益

2010/2Q

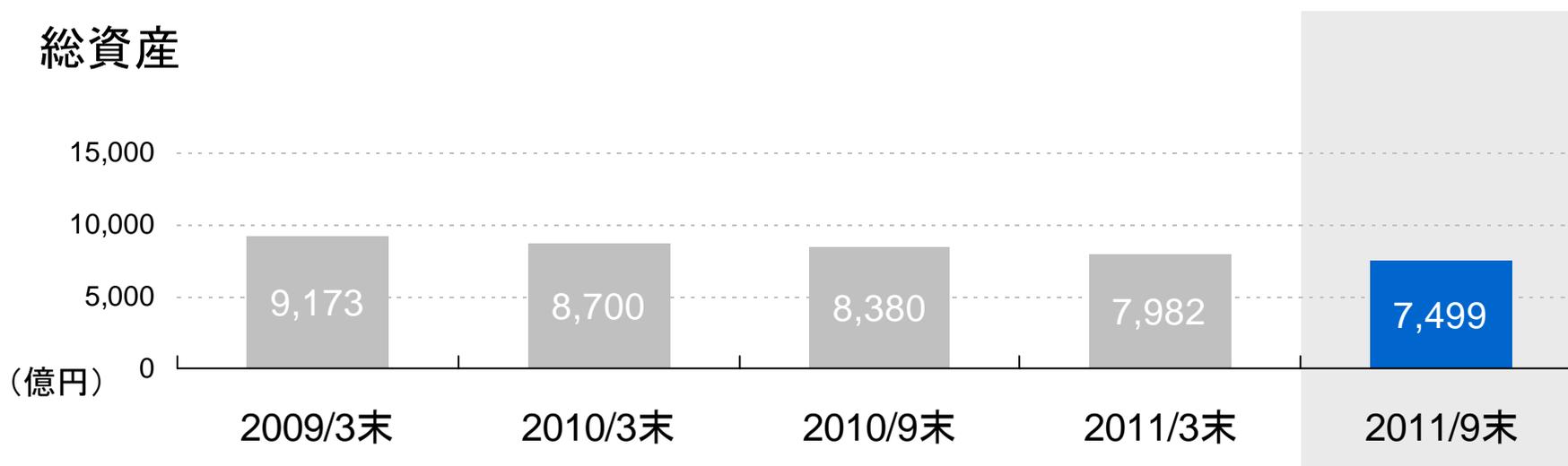
7億円減益

営業利益

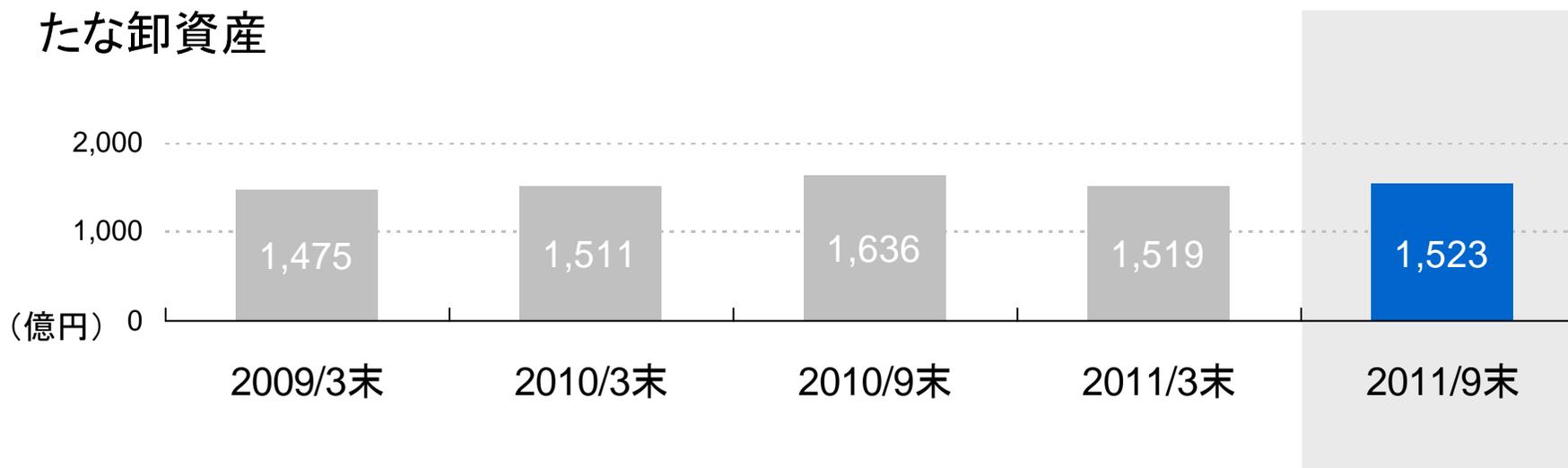
2011/2Q

貸借対照表主要項目推移

総資産

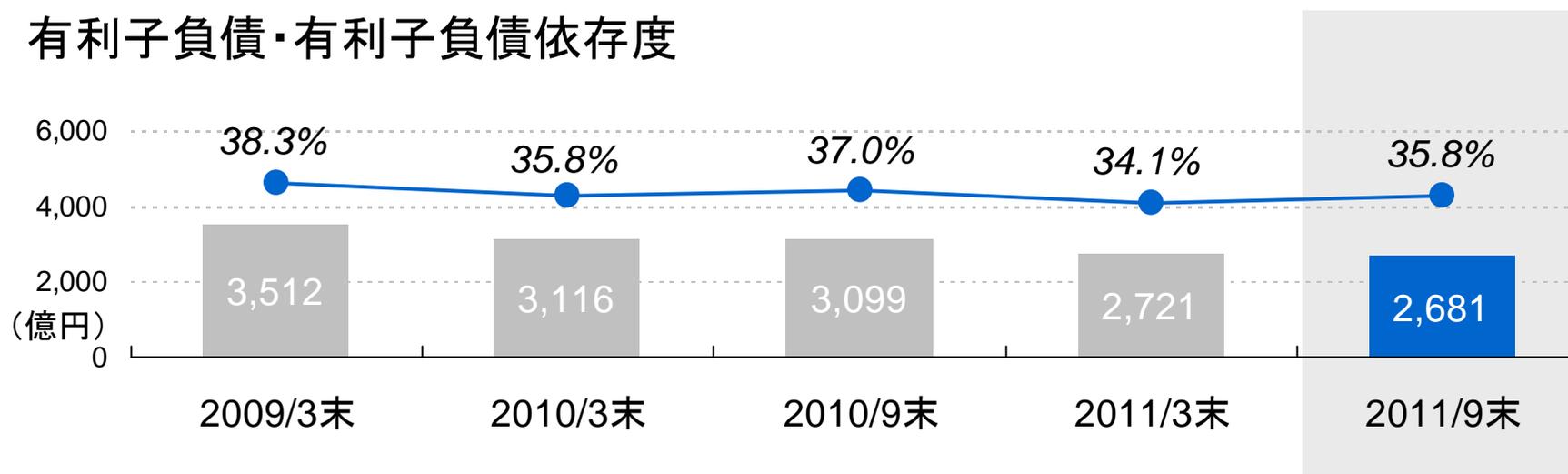


たな卸資産

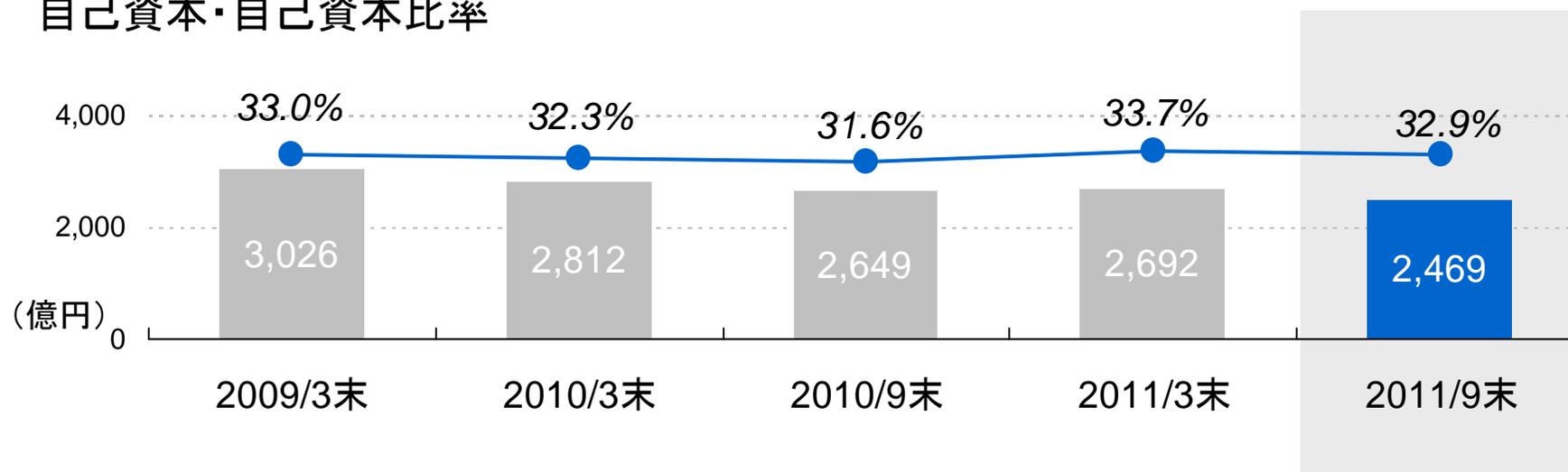


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



自己資本・自己資本比率



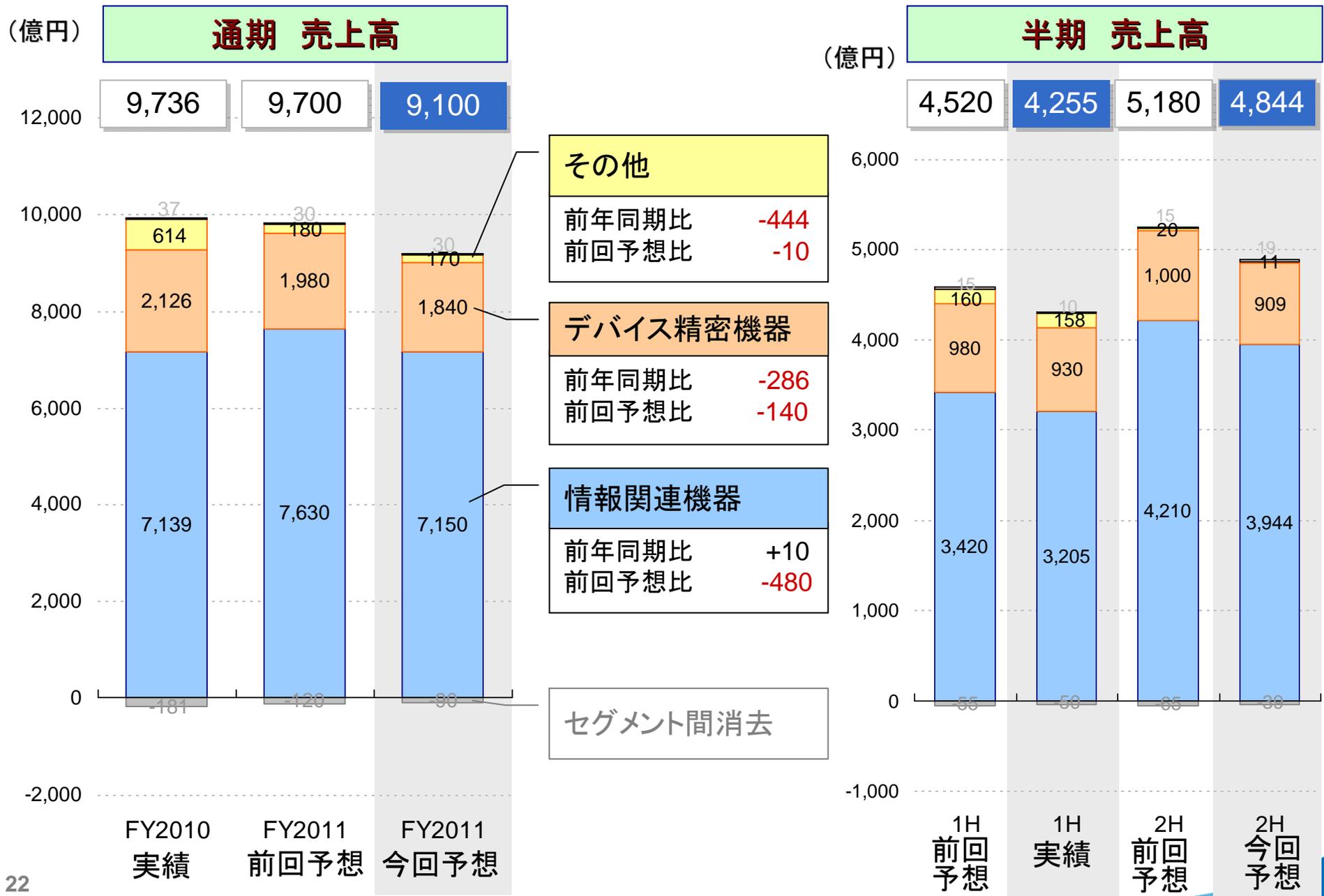
*有利子負債:リース負債を含む

*自己資本:純資産合計-少数株主持分

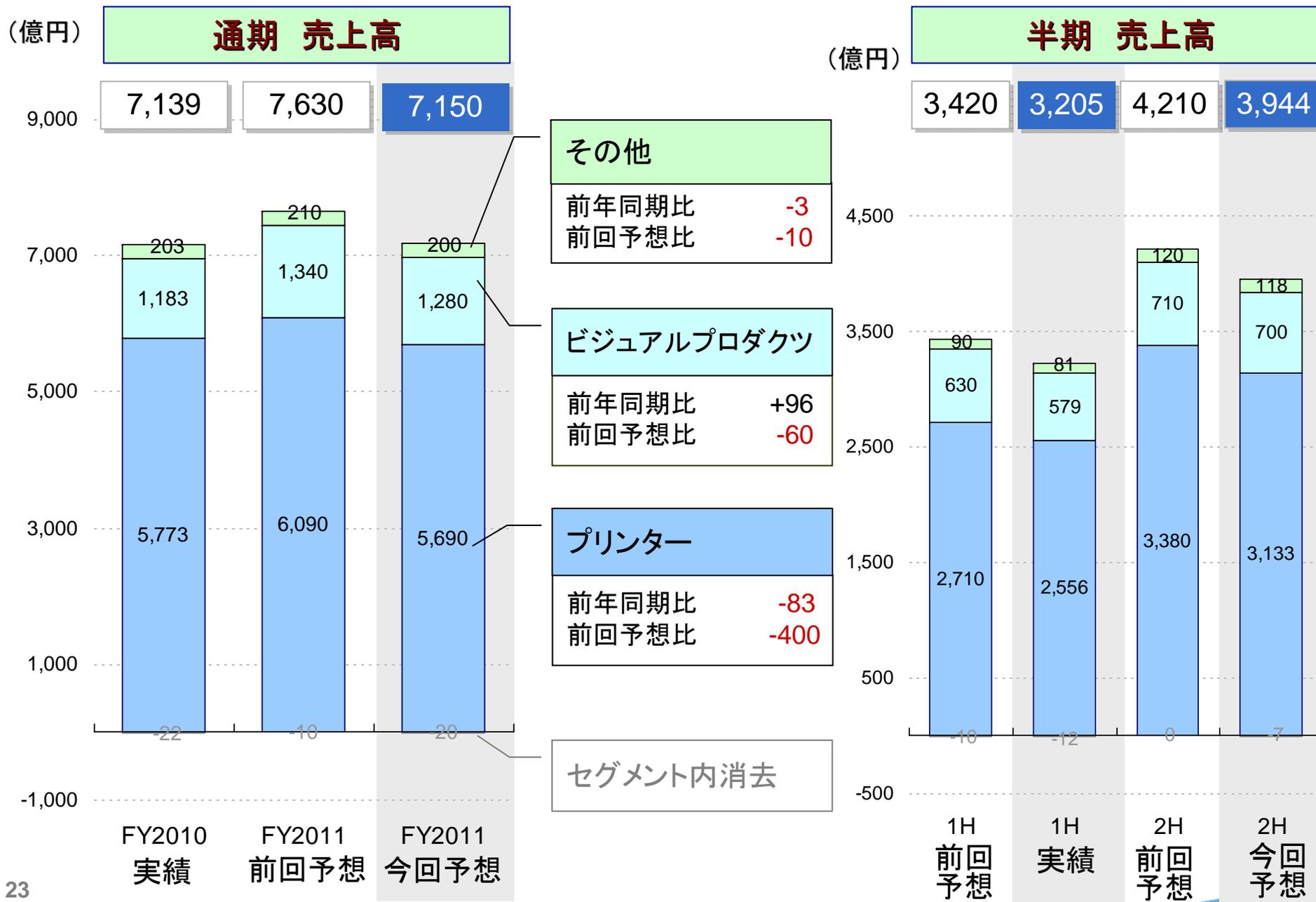
1) 2011年度 第2四半期決算

2) 2011年度 業績予想

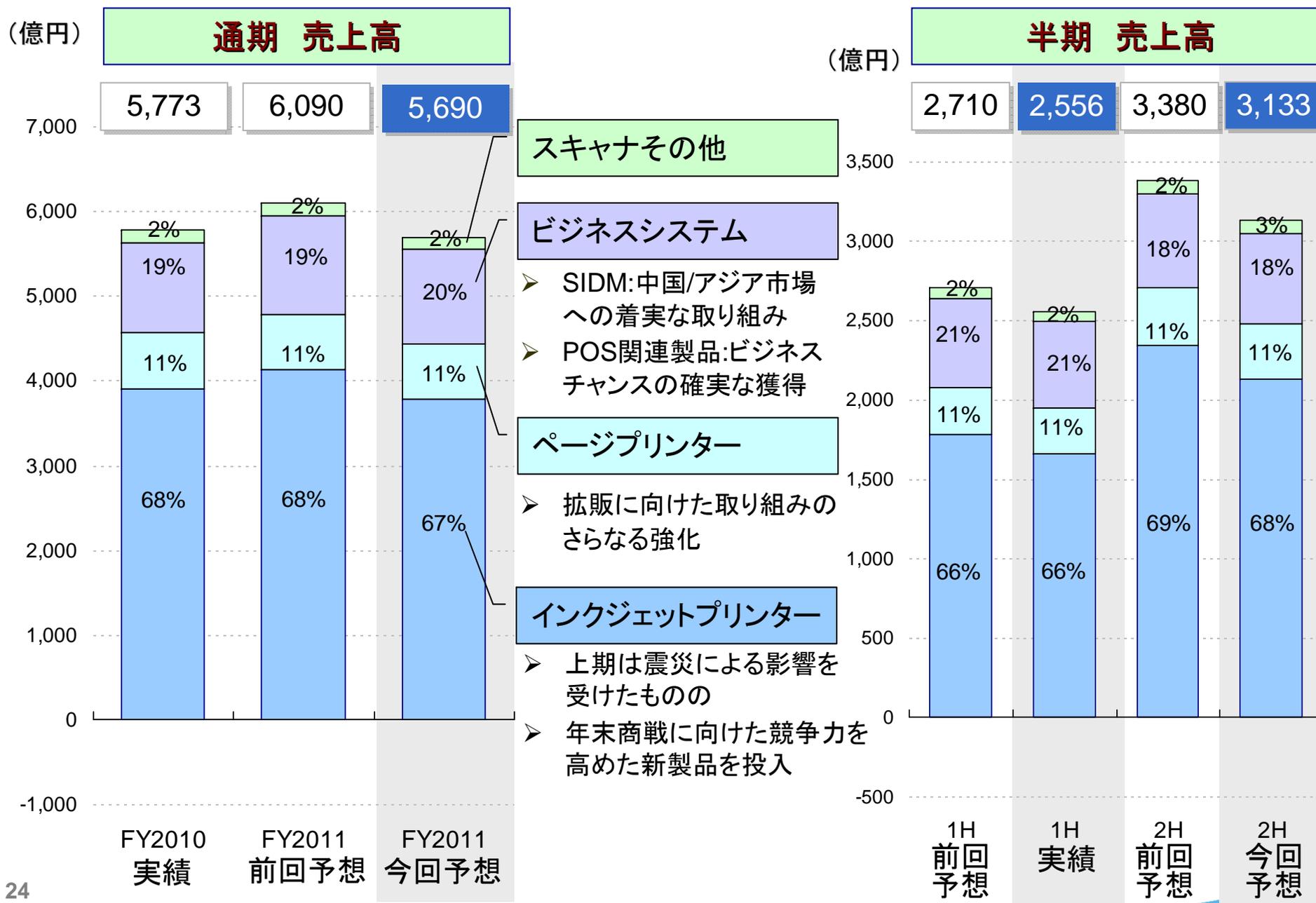
2011年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



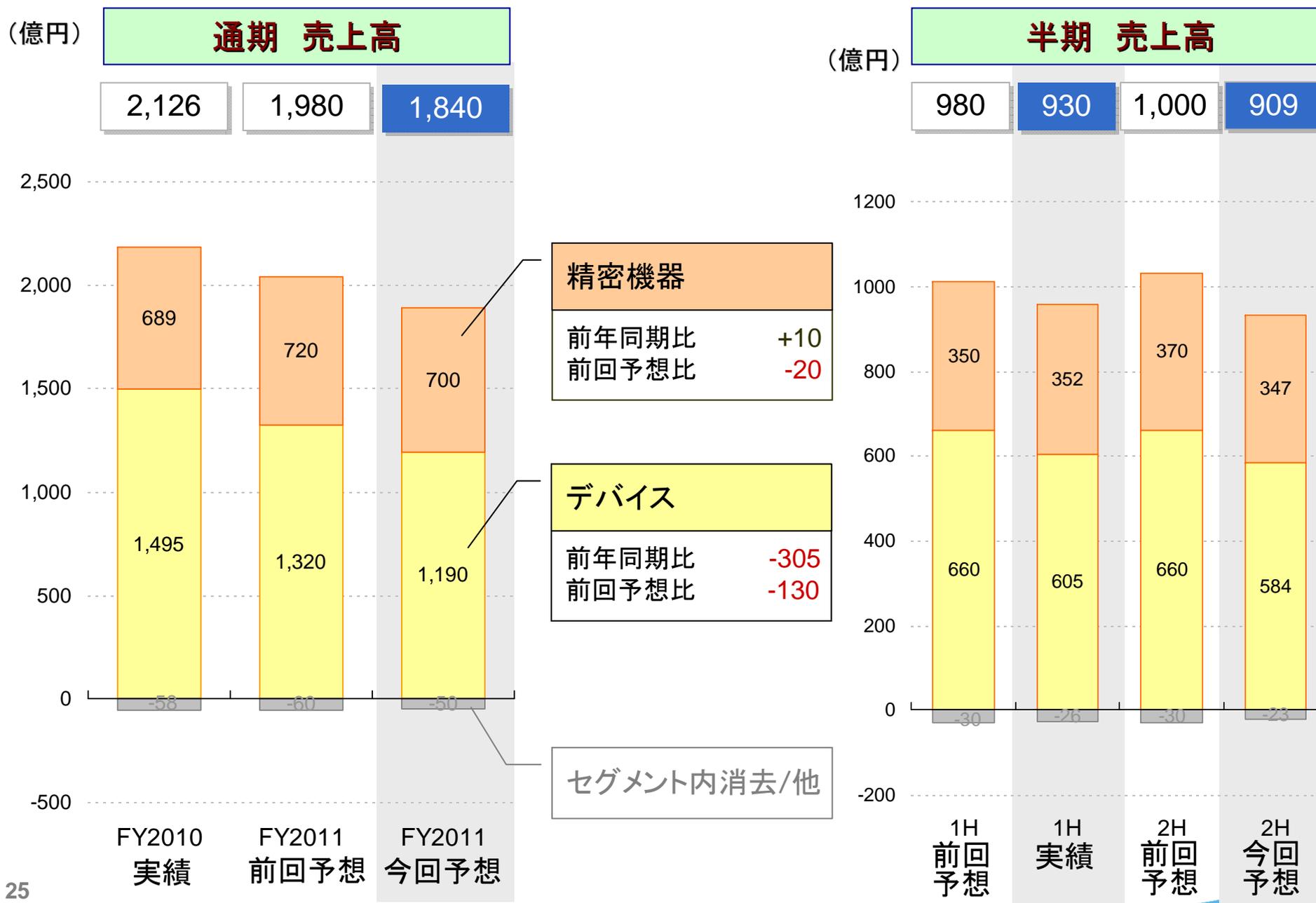
事業別売上高予想 ▶ 情報関連機器セグメント



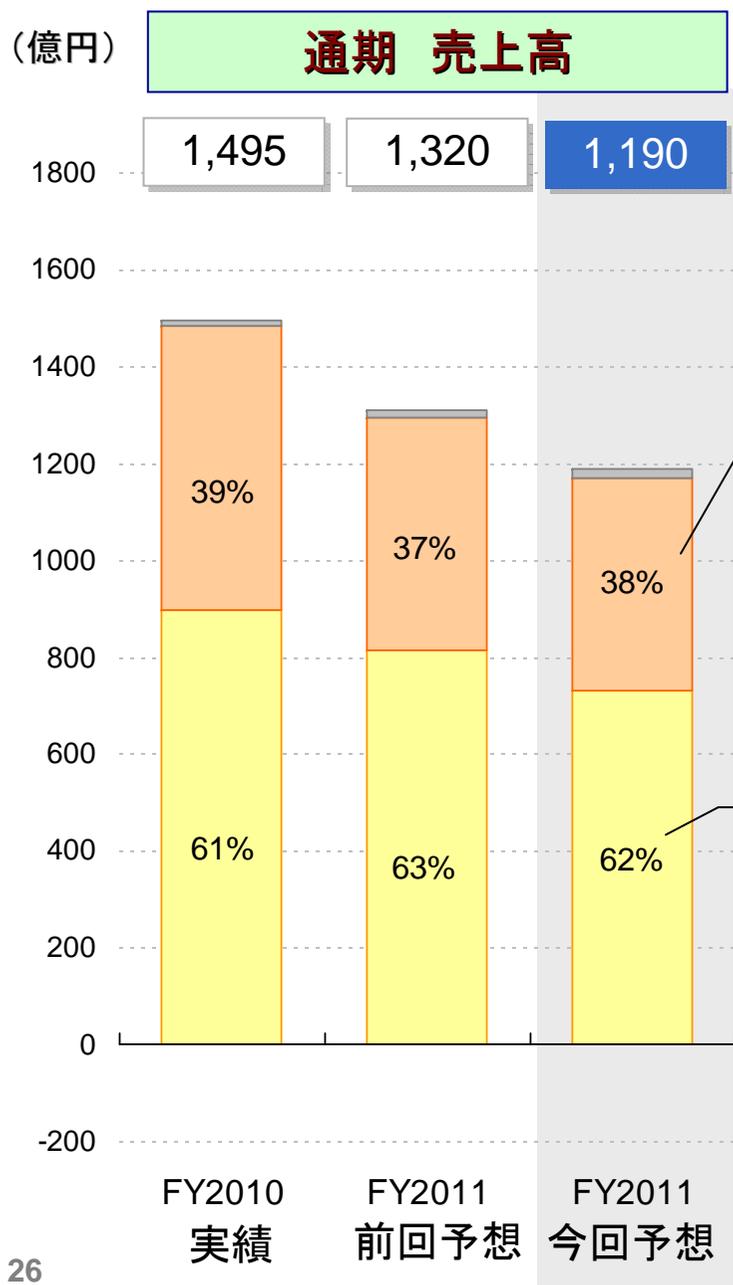
事業別売上高予想 ▶ プリンター事業



事業別売上高予想 ▶ デバイス精密機器セグメント



事業別売上高予想 ▶ デバイス事業

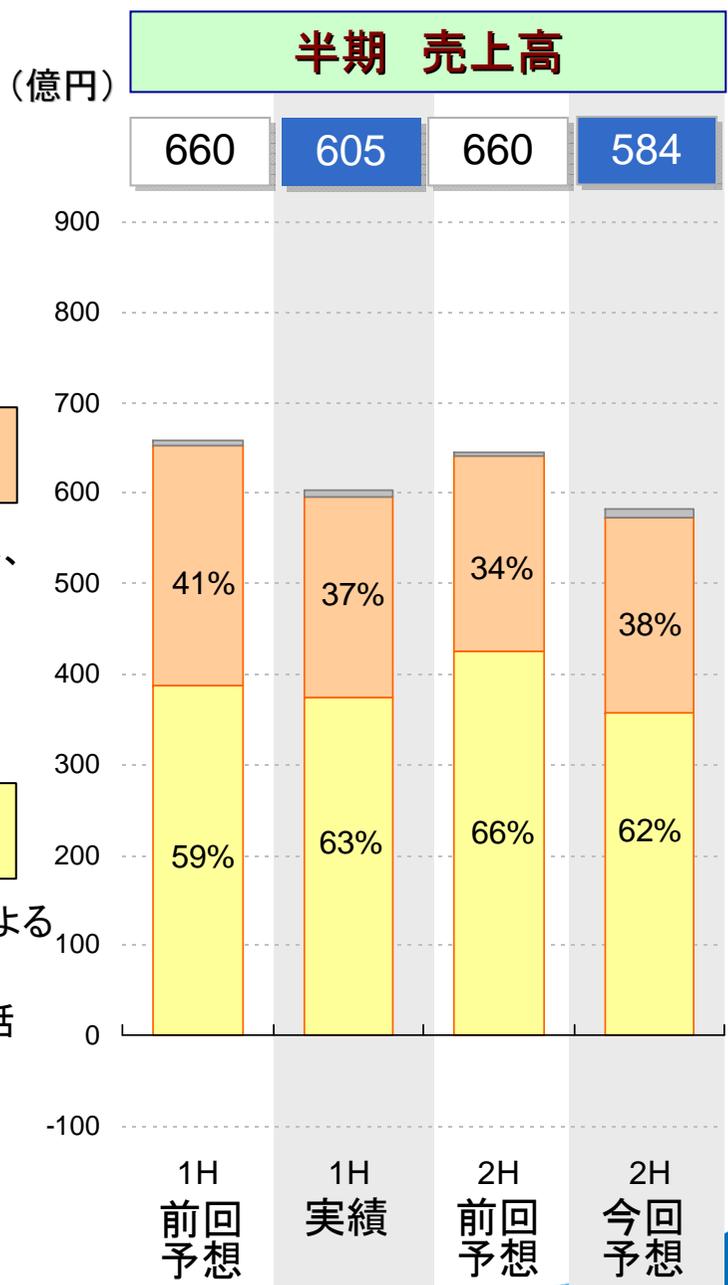


半導体

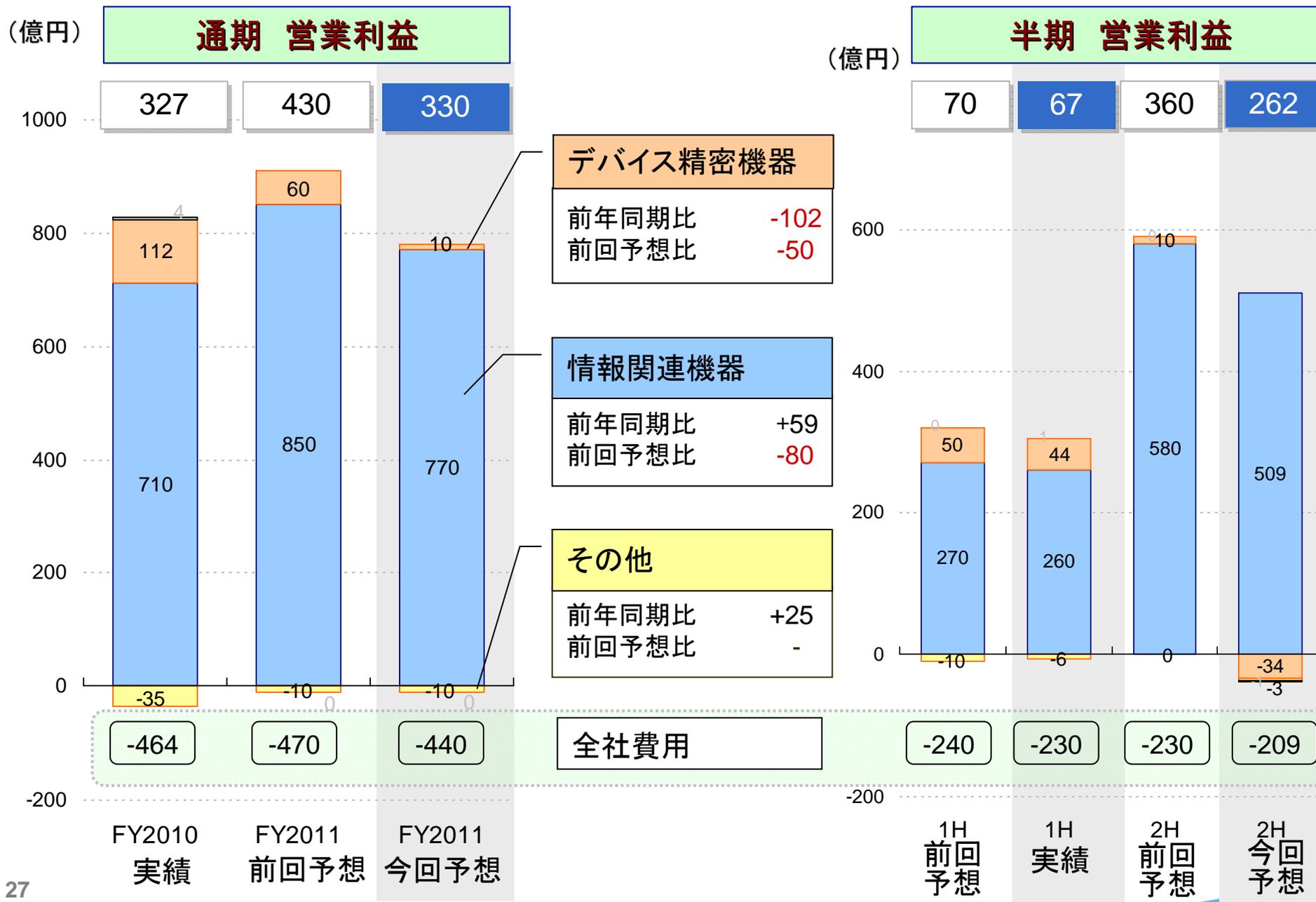
- 顧客需要の回復に遅れ、需要の早期取り込み
- 完成品・水晶事業との連携

水晶デバイス

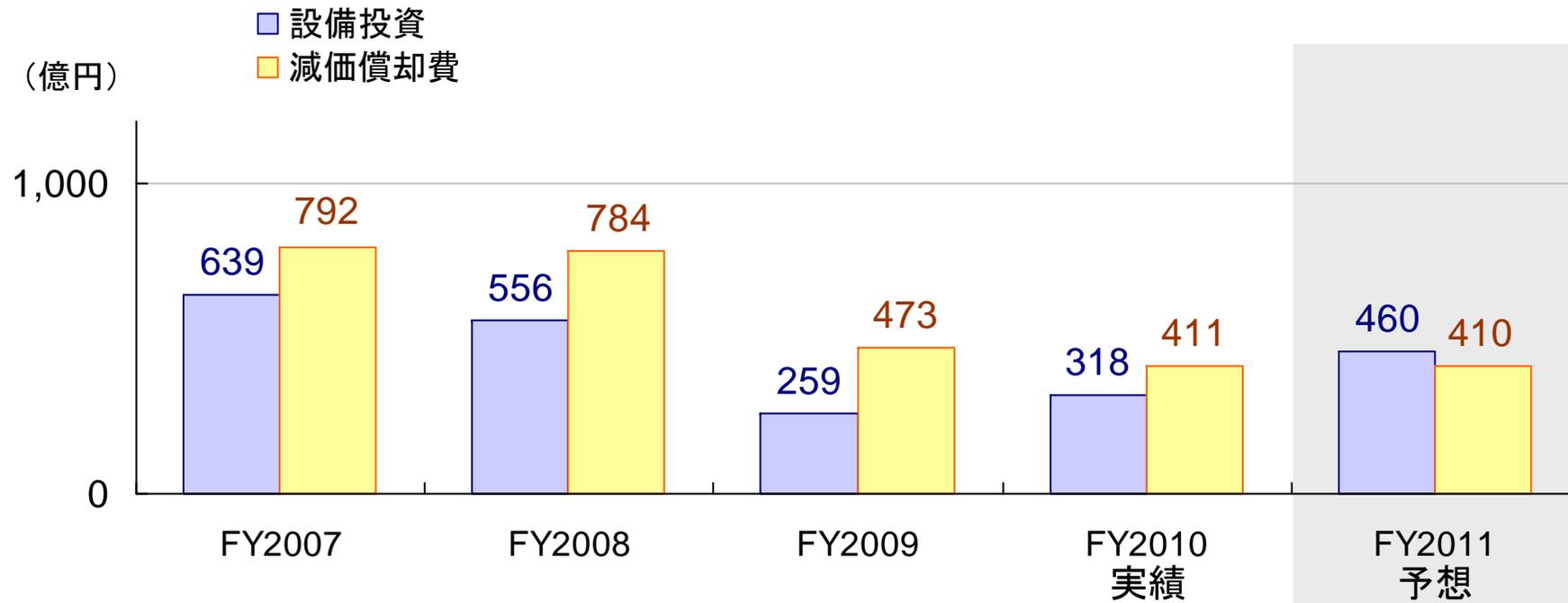
- 震災影響、景気減速による回復の遅れ
- デジタル家電、携帯電話向けなどを中心に需要の取り込み



2011年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別

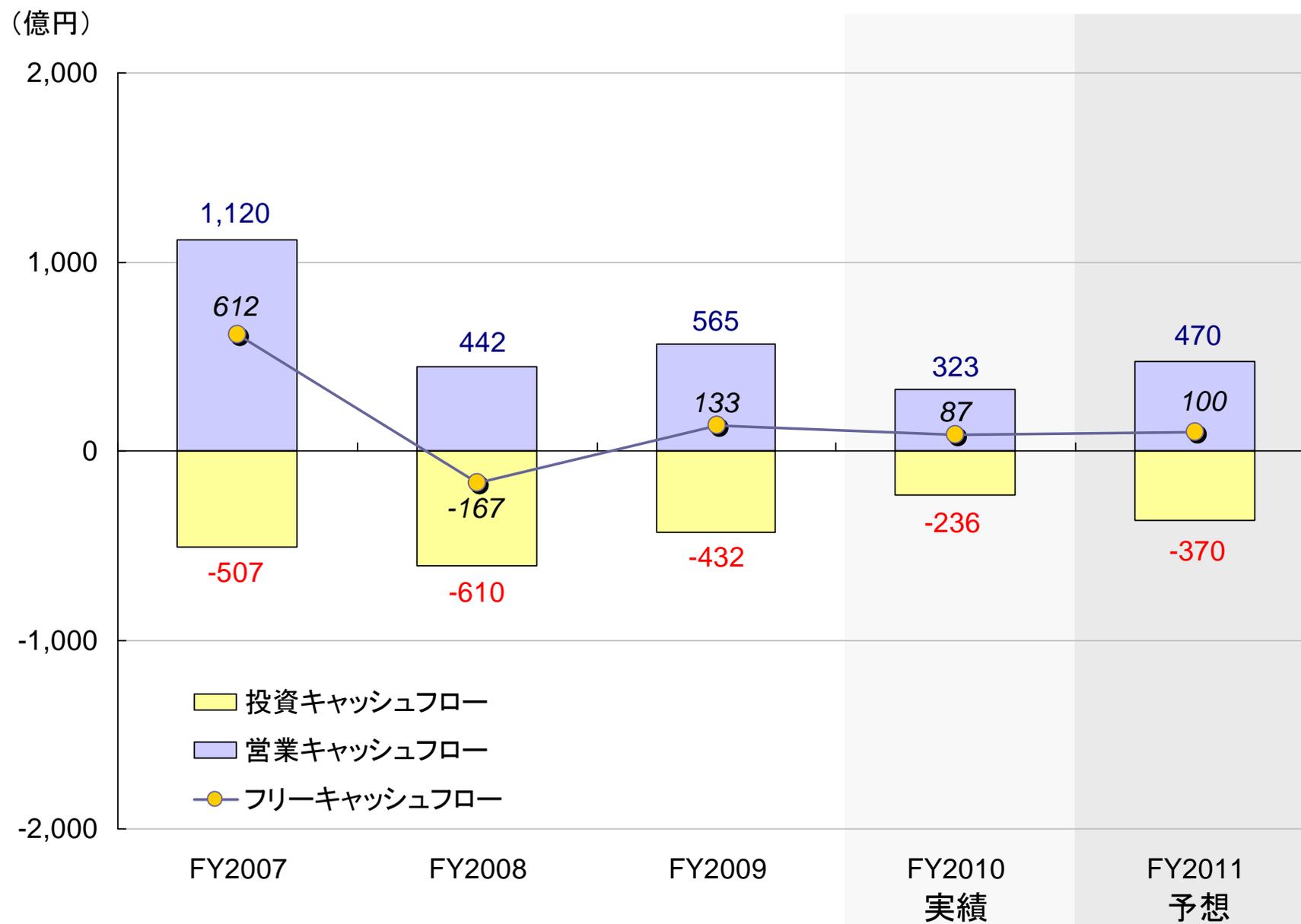


設備投資・減価償却費予想

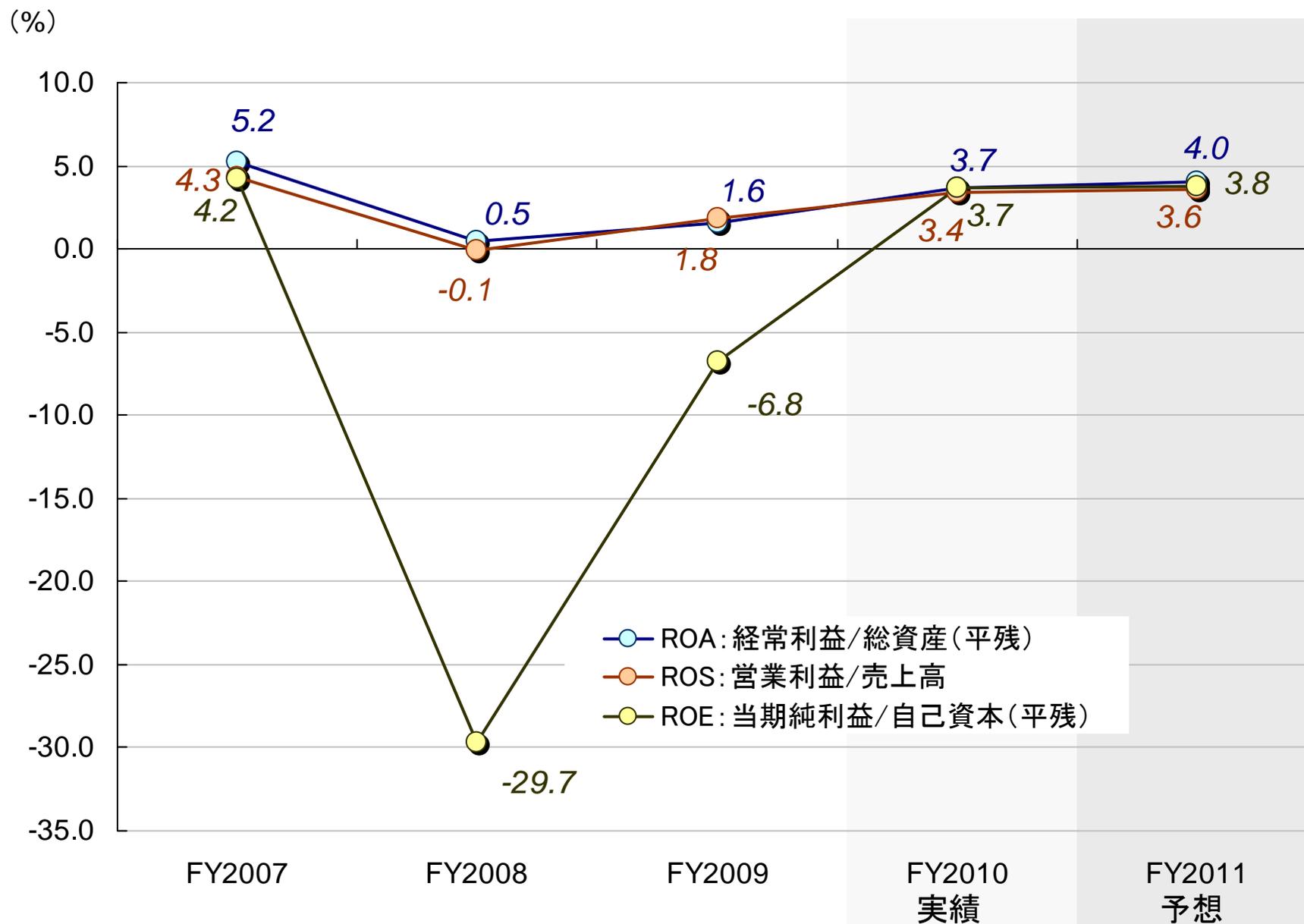


<セグメント別内訳>	FY2010実績		FY2011予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	186	245	310	250
デバイス精密機器	102	101	90	110
その他・調整額	29	63	60	50

フリーキャッシュフロー予想



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION